

## 基本目標について（案）

## 1 目標設定の考え方

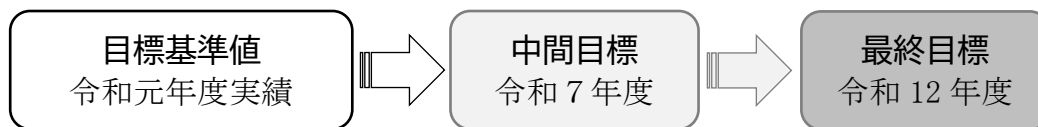
## (1) 基本目標

- ・ 発生抑制と再使用を優先的に推進する目標として「ごみ総量」を設定
- ・ 埋立地の延命化を図る目標として「最終処分量」を設定
- ・ 取組状況が市民にとって分かりやすく見える目標として「1人1日当たりの家庭ごみ排出量」、「家庭ごみに占める資源物の割合」を設定

## (2) 参考指標

- ・ 目標を達成する上で必要な取組状況等を把握する参考指標として、「リサイクル率」、「事業ごみ量」、「家庭系食品ロス量」、「廃棄物分野の温室効果ガス排出量」を設定

## 2 基準値・目標値



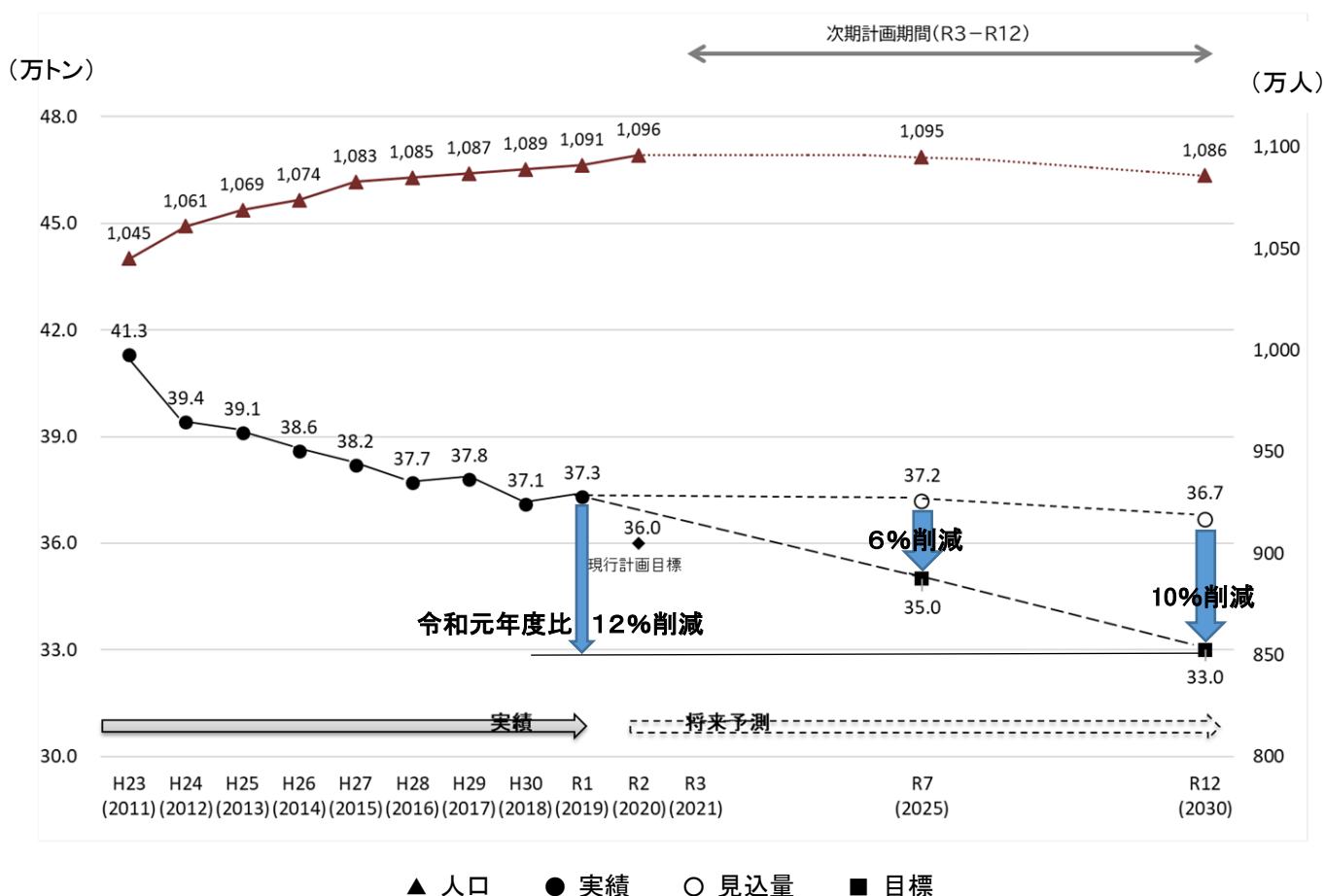
基本目標	基準値	中間目標	最終目標
①ごみ総量 現行計画から継続	37.3 万トン R1 年度比	35 万トン 6%削減	33 万トン 12%削減
②最終処分量 新規	5.2 万トン R1 年度比	4.9 万トン 6%削減	4.6 万トン 12%削減
③1人1日当たりの家庭ごみ排出量 現行計画から継続	463 グラム R1 年度比	430 グラム 7%削減	400 グラム 14%削減
④家庭ごみに占める資源物の割合 新規	40.1% R1 年度比	35% 5P引下	30% 10P引下
参考指標	基準値	中間目標	最終目標
①事業ごみ量 新規	13.9 万トン R1 年度比	13 万トン 7%削減	12 万トン 14%削減
②リサイクル率 現行計画の基本目標	28.5% R1 年度比	30% 1P引上	32% 3P引上
③家庭系食品ロス量 新規	1.8 万トン R1 年度比	1.4 万トン 22%削減	9 千トン 半減
④廃棄物分野の温室効果ガス排出量 現行計画の基本目標（定性目標）	13.7 万トンのCO <sub>2</sub> R1 年度比	12 万トンのCO <sub>2</sub> 13%削減	10 万トンのCO <sub>2</sub> 27%削減

### 3 目標数値の設定根拠

令和元年度のごみ総量 **37.3 万トン** を基に、従前のごみ減量・リサイクル推進施策による減少傾向と人口推計から、令和 12 年度のごみ総量を **36.7 万トン** と見込み、プラスチックごみと食品ロスの発生抑制、家庭ごみに混入する雑がみ等の分別徹底の推進によって、**見込量から約 10% (令和元年度比で約 12%) の削減** を目指し、**ごみ総量 33 万トン** 以下とする最終目標を設定。

この 33 万トン以下とする目標は、現行計画当初 (平成 23 年 3 月策定) の目標でもあり、震災前の水準に回復した現状を起点に再チャレンジしていきたい。

【ごみ総量の推移】

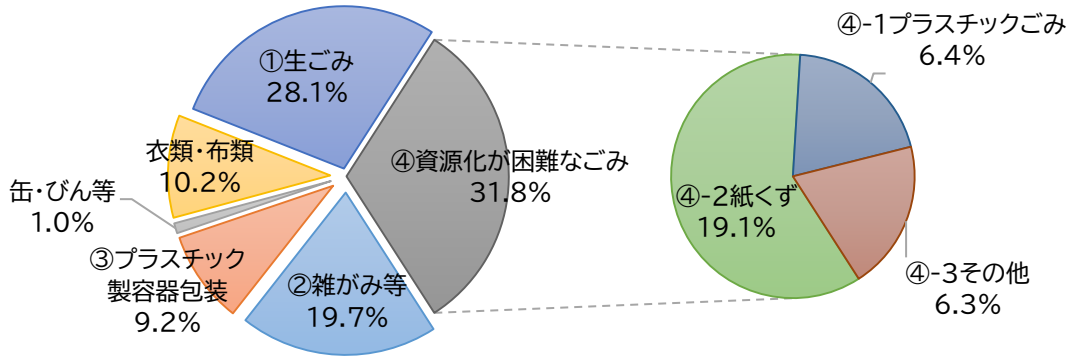


《ごみ総量 33 万トン達成に向けたイメージ》

リデュース・リユースによる発生抑制と資源物の分別徹底によるリサイクル推進により、令和12年度までに、ごみ総量を33万トン以下にする **12%削減(4万トン)**

【生活ごみ】

家庭ごみの組成(令和元年度)



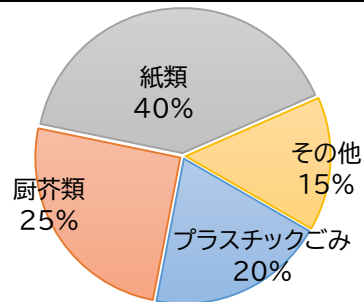
分別収集	①	生ごみ	食品ロスの発生抑制(R1 比半減)、「3つのきる」の徹底
	②	雑がみ	分別徹底⇒資源化(定期回収・集団資源回収等)
	③	プラ製容器包装	分別徹底⇒資源化(分別収集)、マイバッグ促進
資源化困難ごみ	④-1	プラスチックごみ	プラスチックごみの発生抑制、製品プラリサイクルの検討
	④-2	紙くず	コーティング加工紙の分別促進⇒資源化(拠点回収)
	④-3	その他	小型家電リサイクル・剪定枝リサイクル等の推進

- ▶1人1日当たりの家庭ごみ排出量:463 グラム⇒400 グラム **63 グラム削減**
- ▶家庭ごみ排出量:18.1万トン⇒16万トン **2.1万トン削減**

【事業ごみ】

事業ごみ(可燃)の組成(令和元年度)

- 食品ロスの削減(R1 半減)
- レジ袋等ワンウェイプラスチックの使用削減
- 紙類の資源化促進
- 木質系バイオマスの推進



- ▶事業ごみ量:13.9万トン⇒12万トン **1.9万トン削減**

最終処分量 **12%削減(6千トン)**

リサイクル率 **3ポイント向上(32%)**

廃棄物分野の温室効果ガス排出量 **27%削減**

目標達成

【参考】他政令市の目標（直近5年以内に計画改定した都市）

- ・ ごみ総量、燃やすごみ量、最終処分量、リサイクル率を目標とする都市が多い
- ・ 相模原市、静岡市、神戸市は、目標とは別に指標を設定し、施策の進捗管理に活用

No.	都市名	ごみ総量	事業ごみ量	燃やすごみの量	最終処分量	1人1日ごみ総量	1人1日家庭ごみ	リサイクル率 リサイクル量	温室効果ガス排 出量	食品ロス 生ごみ
1	仙台市	○		○			○	○	○	
2	札幌市	○			○		○			○
3	さいたま市				○	○	○			
4	千葉市	○		○	○			○	○	
5	川崎市			○		○				
6	相模原市	○	△ (サブ指標)		○		△ (サブ指標)			△ (サブ指標)
7	静岡市		△ (個別指標)			○	△ (個別指標)			
8	名古屋市	○		○	○			○		
9	大阪市	○		○	○			○	○	
10	堺市		○	○	○		○	○		
11	神戸市	△ (参考指標)	○	△ (参考指標)	△ (参考指標)		○	△ (参考指標)	△ (参考指標)	
12	岡山市					○		○		